

全日本オリエンテーリング大会を考えるワーキンググループ 2015 メンバー公募について

平成 27 年(2015 年)5 月 24 日

(公社)日本オリエンテーリング協会 業務執行理事 木村佳司

全日本オリエンテーリング大会を考えるワーキンググループ 2015 メンバー募集

募集内容

全日本オリエンテーリング大会を考えるワーキンググループ 2015 のメンバーとして、全日本オリエンテーリング大会のどう継続してゆくのかを検討するメンバーを募集します。

- 資格 : 特に定めない
人数 : 5 名
公募期間 : 平成 27 年 5 月 24 日から 6 月 12 日
応募先 : 電子メールで連絡する
kimura@orienteering.com (木村佳司)
選考方法 : メンバーは平成 27 年 6 月 14 日開催の理事会で決定する。
任期 : 平成 27 年(2015 年)6 月 14 日から
平成 28 年(2016 年)3 月

全日本オリエンテーリング大会を考えるワーキンググループ 2015 の構成

- ・座長は理事会代表(業務執行理事)
- ・事務局代表
- ・公募メンバー(最大 5 名)

ワーキンググループに期待する成果

平成 29 年(2017 年)以降の全日本オリエンテーリング大会のありかたを理事会に文書(電子的記録を含む)で答申する。

ワーキンググループの進め方

平成 27 年 10 月末までに案を作成し、パブリックコメントを募集する。
平成 28 年 3 月に開催される理事会にて答申する。
その後ワーキンググループは解散する。

(募集要項以上)

(以下説明)

経緯

平成 26 年度かけて第一次のワーキンググループを実施した。この問題は大会提供側にいる者からは問題提起されているが、選手側から見ると唐突感があり、理解が進まなかった。平成 27 年 2 月に中間報告を行い、パブリックコメント募集を行ったあたりから、やっと議論が活発化してきた。これを継続する。

また委員会を中心としたメンバーによる議論は決して活発ではなかった。そこでメンバーを入れ替え、パブリックコメントを出してくれた会員や有識者を公募し、さらに議論を続けて方向性を示したい。

主旨

過去 40 年で第 40 回目を終えた全日本大会であるが、現在のシステムのままでは立ち行かない。このままでは継続できずに中止に追い込まれることも考えられる。

全日本大会が 50 回目を迎えられるような、継続できる具体的な大会システムに変えて行くことが必要である。

問題点

現在の全日本大会の基本コンセプトは以下の 4 つで構成されている。

- ・毎年開催
- ・地方持ち回り
- ・年齢別選手権
- ・日本選手権

これを実現するためには現在はかなり無理が生じ、一部破綻しているところがある。現在は関係者の努力により辛うじて開催が維持されている状態である。このままでは開催主管が居なくなり、開催不能にあることが予想される。

(説明以上)